

令和6年度 第1回 保土ヶ谷区制100周年事業実行委員会

日時：令和6年4月26日（水）10時
場所：横浜ビジネスパーク 大会議室

次 第

- 1 開会
- 2 挨拶
保土ヶ谷区長 神部 浩
- 3 議題
 - (1) 保土ヶ谷区制100周年事業実行委員会の委員について (資料1)
 - (2) 保土ヶ谷区制100周年事業の基本的な考え方について (資料2、3)
 - (3) 保土ヶ谷区制100周年事業実行委員会の組織体制について (資料4)
 - (4) 保土ヶ谷区制100周年事業実行委員会規約について (資料5)
 - (5) 保土ヶ谷区制100周年事業団体登録について (資料6)
 - (6) 今後のスケジュールについて (資料7)
 - (7) 保土ヶ谷区公式マスコットキャラクターの制定について (資料8)

【事務局】

保土ヶ谷区制100周年事業実行委員会事務局
(保土ヶ谷区役所地域振興課)
TEL：045-334-6307 FAX：045-332-7409
Mail：ho-chiiki@city.yokohama.jp



GREEN × EXPO 2027
2027年国際園芸博覧会

保土ヶ谷区は2027年に
区制100周年を迎えます

No.	所属	肩書	氏名(敬称略)
1	保土ヶ谷区連合町内会長連絡会	会長	堀 功生
2	保土ヶ谷地区連合自治会	会長	鈴木 徳二
3	保土ヶ谷南部地区連合自治会	会長	小原 秀雄
4	保土ヶ谷中地区連合自治会	会長	左近 徹
5	保土ヶ谷東部地区連合自治会	会長	堀 功生
6	保土ヶ谷西部連合自治会	副会長	長山 昌利
7	新桜ヶ丘地区連合自治会	会長	中村 好美
8	権太坂境木地区連合自治会	会長	佐野 三郎
9	岩井町原連合町内会	会長	小石川 悦子
10	岩間地区連合町内会	会員	矢島 正宏
11	中央連合町内会	会長	中西 義宣
12	中央東部地区連合町内会	会長	眞嶋 敏晴
13	和田・釜台地区連合町内会	会長	田中 直次郎
14	上星川地区連合町内会	会長	原 泰弘
15	常盤台地区連合町内会	会員	吉弘 正信
16	川島東部連合町内会	総務	藁科 真奈美
17	仏向地区連合町内会	会長	根本 稔
18	川島原地区連合会	事務局長	島田 章
19	西谷連合町会	会長	犬飼 徹雄
20	上新地区連合自治会	会長	金子 久夫
21	上菅田地区連合自治会	事務局長	堤 孝一
22	保土ヶ谷区民会議	代表委員	小林 由美子
23	保土ヶ谷区商店街連合会	会長	寺坂 悦郎
24	保土ヶ谷区老人クラブ連合会	会長	松野 忍
25	保土ヶ谷区社会福祉協議会	会長	畑尻 明
26	保土ヶ谷区民生委員児童委員協議会	会長	中村 好美
27	保土ヶ谷区主任児童委員連絡会	委員	小林 めぐみ
28	保土ヶ谷区明るい選挙推進協議会	会長	白石 勝己
29	保土ヶ谷区青少年指導員協議会	会長	白石 勝己
30	保土ヶ谷区子ども会育成連絡協議会	会長	大久保 節子
31	保土ヶ谷区スポーツ推進委員連絡協議会	会長	広田 正喜
32	保土ヶ谷区スポーツ協会	会長	小柴 邦幸
33	ほどがや花の街推進連絡会	会長	堀 功生
34	保土ヶ谷区環境事業推進委員連絡協議会	会長	片山 重勝
35	保土ヶ谷交通安全協会	事務長	八木 千尋
36	保土ヶ谷交通安全母の会連合会	会長	山野邊 和子
37	保土ヶ谷青少年交通安全連絡協議会	副会長	渡邊 仲幸
38	保土ヶ谷安全運転管理者会	会長	工藤 樹

No.	所属	肩書	氏名（敬称略）
39	保土ヶ谷防犯協会	会長	鈴木 方規
40	保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会	代表	石田 朗大
41	保土ヶ谷区保健活動推進員会	会長	久保 進
42	保土ヶ谷区食生活等改善推進員会	会長	永井 敏江
43	保土ヶ谷区食品衛生協会	会長	小野 利二
44	保土ヶ谷火災予防協会	会長	森山 元明
45	保土ヶ谷消防団	本部部長	入江 直孝
46	保土ヶ谷区医師会	会長	浅井 俊弥
47	保土ヶ谷区歯科医師会	会長	古田 潤二郎
48	保土ヶ谷区薬剤師会	会長	石井 泰彦
49	保土ヶ谷区社会福祉協議会 ボランティア・市民活動分科会	分科会長	穴原 豊
50	保土ヶ谷保護司会	会長	阿部 学
51	保土ヶ谷区小学校長会	会長	五十嵐 玲
52	保土ヶ谷区中学校長会	会長	猪熊 士朗
53	保土ヶ谷区PTA連絡協議会	会長	関口 義則
54	横浜市幼稚園協会保土ヶ谷支部	代表	渡邊 啓一
55	横浜市私立保育園こども園園長会保土ヶ谷地区	代表	千葉 洋介
56	地域子育て支援拠点こっころ	NPO法人ピアわらべ 理事長	秋元 秘路子
57	国立大学法人横浜国立大学（産学・地域連携課）	副学長（地域担当）	田中 稲子
58	横浜保土ヶ谷ロータリークラブ	会員	石田 和久
59	横浜保土ヶ谷ライオンズクラブ	会長	辻野 隆晴
60	公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団	専務理事	櫻井 龍一
61	保土ヶ谷コミュニティオーケストラ	団長	高野 正
62	NPO法人保土ヶ谷ガイドの会	会長	麻生 民次
63	NPO法人元気な地域人の会	理事長	金子 宣治
64	保土ヶ谷区民謡舞踊愛好会	会長	吉野 都茂恵
65	ほどがや産直便	代表	渡邊 廣子
66	武相宿場連携まつり実行委員会	代表	近藤 博昭
67	ほどがや 人・まち・文化振興会	役員	大尾 美登里
68	ほどがや区の歌合唱団	団長	村山 猛
69	一般社団法人横浜建設業協会 保土ヶ谷区会	副会長	村 奈穂樹
70	横浜商工会議所西部支部	支部長	犬飼 邦夫
71	横浜西部工業会	会長	栗原 敏郎
72	野村不動産株式会社	都市開発第一事業本部 ビルディング事業二部事業二課 課長	船元 一茂
73	株式会社相鉄アーバンクリエイティブ	アセットマネジメント部 課長	小杉山 祐昌
74	株式会社相鉄ビルマネジメント	二俣川営業所 課長	竹澤 伸幸
75	相模鉄道株式会社	営業統括部 課長	松岡 耕平
76	東日本旅客鉄道株式会社（保土ヶ谷駅）	横浜駅 副駅長	森田 裕子
77	日本郵便株式会社 保土ヶ谷郵便局	総務部長	金子 勝
78	株式会社横浜フリースポーツクラブ（横浜FC）	C.R.O	内田 智也

No.	所属	肩書	氏名（敬称略）
79	横浜ケーブルビジョン株式会社	代表取締役社長	田島 真
80	株式会社テレビ神奈川	営業局営業部 副部長	柴田 秀幸
81	株式会社タウンニュース社 横浜中央支社	保土ヶ谷区編集室 編集長	高島 雄一
82	神奈川県立かながわアートホール	館長	馬場 洋一
83	神奈川県立保土ヶ谷公園	園長	片倉 聡
84	保土ヶ谷図書館	館長	中村 拓
85	資源循環局保土ヶ谷事務所	所長	中川 裕二
86	みどり環境局北部公園緑地事務所	所長	高橋 昌広
87	水道局浄水部西谷浄水場	運営係長	松本 一樹
88	水道局給水サービス部中村水道事務所	所長	岩澤 守久
89	交通局保土ヶ谷営業所	副所長	岡田 吉生
90	消防局保土ヶ谷消防署	署長	森屋 司
91	神奈川県保土ヶ谷警察署	署長	本田 悦二郎
92	市議員	市議員	森 ひろたか
93	市議員	市議員	斉藤 伸一
94	市議員	市議員	青木 亮祐
95	市議員	市議員	磯部 圭太
96	市議員	市議員	関 嵩史
97	県議会議員	県議会議員	高橋 栄一郎
98	県議会議員	県議会議員	望月 聖子
99	区長	区長	神部 浩

保土ヶ谷区制100周年事業 基本的な考え方 ～みんなの声をまとめてみました～

2027年（令和9年） 保土ヶ谷区制100周年

いつまでも住み続けたいまち ほどがやを 未来へ

～みんなで作ろう次の100年・想いをカタチに～

保土ヶ谷区が横浜市最初の5区のひとつとして誕生して100年。
100年という節目に、これまでの保土ヶ谷区がどんなまちだったのか、これからはこんなまちにしたい、みなさんのそんな想いを形にするためにこの周年行事を行います。
みんなで知恵を出し合い、共に動き、アイデアを実現していく。
保土ヶ谷区は100周年もその後も、そんなふうになられていくまちでありたいと思います。

想いを形にするために、保土ヶ谷区で暮らす人、働く人、学ぶ人、保土ヶ谷に関心を持つみなさんから様々な意見を募りました。

そして、みなさんの想いをまとめ、区制100周年事業の基本的な考え方を整理しました。
次の100年に向けて、区民みんなでこの「ほどがや」を未来へつないでいきましょう！

3つのテーマと未来像

区民のみなさんに理想の未来像を
ヒアリングしたところ
この3つのテーマに集約されました

これまでの100年

今の保土ヶ谷区があるのは、これまで区民が
汗を流し、支えあってきたことの成果だと思う
(住民団体メンバー)

つながり



100周年を過去を振り返るだけでなく、
次の100年をどう進むか考える機会にしたい
(60代区民)

未来へ

私たち区民1人1人が、
自分事としてまちの未来を考えたい
(30代区民)

いろいろな関係者と協力しながら
具体的なアイデアを企画・実行したい
(子ども系団体メンバー)



子ども



魅力

令和5年度区民ヒアリングより

これからの100年（目指すほどがやの姿）

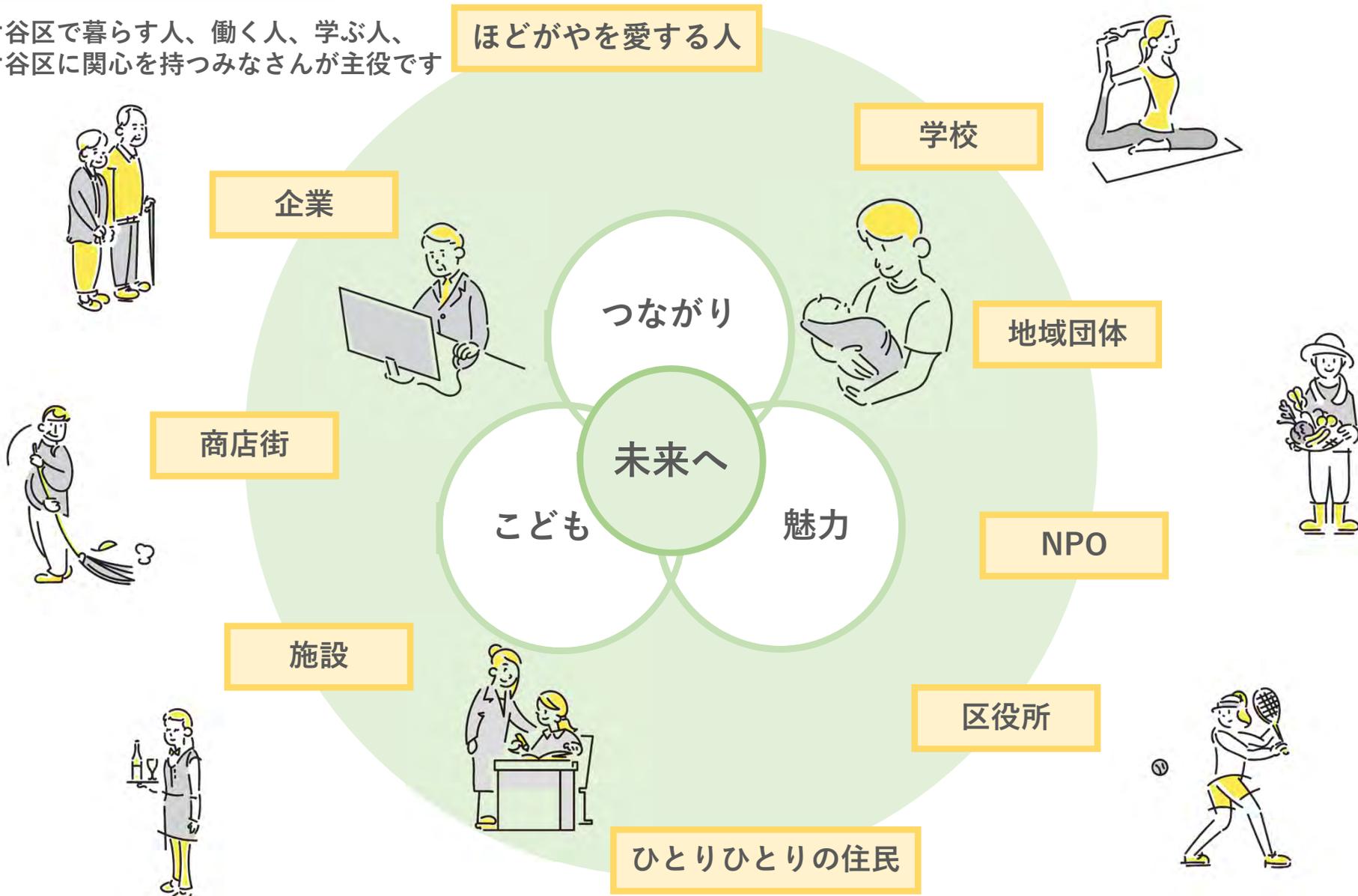
これまでの保土ヶ谷区の歴史や文化を次の100年という未来につなげます

- ・ご近所とつながりあえる笑顔と活気があふれるまち
- ・子どもたちがこれからも住みたいまち、大人になって戻って来たいまち
- ・豊かな自然と高い利便性が共存するまち
- ・高齢者や障がい者、子育て世代など誰もがつながるあたたかいまち
- ・安心して暮らせる防犯・防災力の高いまち



みんなで作る100周年！

保土ヶ谷区で暮らす人、働く人、学ぶ人、
保土ヶ谷区に関心を持つみなさんが主役です

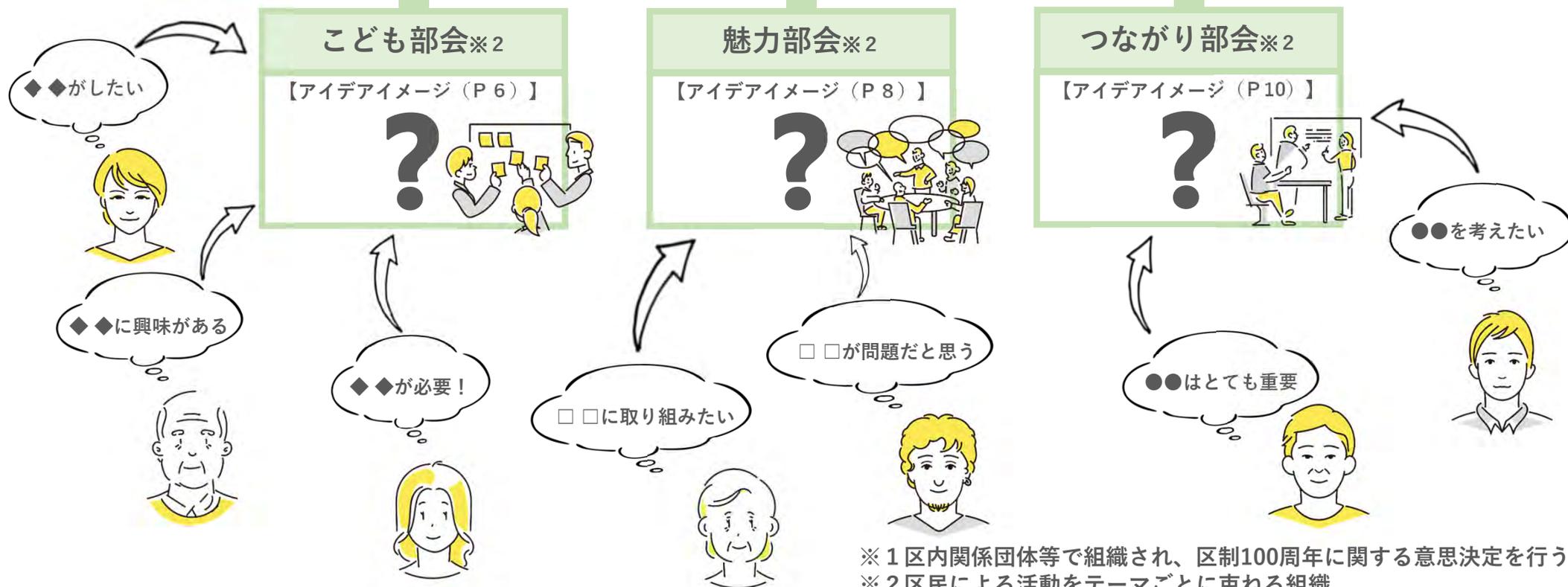


区民主体で取り組むこと

目的

- ほどがや愛の醸成（もっとほどがやを好きになる！）
- 次の100年へまちの良い所の再発見と継承（こんな良いところあったのか！）
- 地域活動に参加する人が増えるきっかけに（地域の集まりに参加してみよう！）
- 多様な主体とのつながりの創出（いろんな人とつながろう！）

保土ヶ谷区制100周年事業実行委員会※1



※1 区内関係団体等で組織され、区制100周年に関する意思決定を行う機関
※2 区民による活動をテーマごとに束ねる組織

目指す姿

大人が「子育てを楽しめる」まちが、
子どもにとっても住みやすいまち
(40代区民)

伝統を受け継ぐだけでなく、
若い人の価値観を尊重し、
参画できるまち
(こども系団体メンバー)

こども

これからを担う子どもたちの心に残る、
活気あふれる保土ヶ谷区にします。



区の施策や地域の活動に、
子どもたちの意見が取り入れられるまち
(こども系団体メンバー)



主なアイデア ～令和5年度区民ヒアリングより～

- ・野球やサッカーなどトップチームの選手と触れ合うイベント
- ・子どもたちが保土ヶ谷区をもっと好きになるイベント
- ・プレイパークなど、子どもがのびのびと安心して遊べる居場所づくり
- ・子どもたちが描く保土ヶ谷の未来図をPR
- ・子どもたちを地域で見守れる居場所づくり

目指す姿

東海道の宿場町という
歴史を生かしたまち
(まちづくり系団体メンバー)

ほどがや野菜を中心に
地産地消が浸透したまち
(福祉系団体メンバー)



魅力

区の魅力や特色を再発見すると共に、
多様性を活かした新たな魅力を創出します。



市内唯一の「花憲章」がある
花のあふれるまち
(住民団体メンバー)



主なアイデア ～令和5年度区民ヒアリングより～

- ・相鉄線高架下での音楽やフリーマーケットなどの各種イベント
- ・地区を越えた盆踊りパレード
- ・種、苗の配布など、市内唯一の「花憲章」に沿った取組
- ・100周年のロゴマークや区のマスコット作り
- ・区内の名所や商店、施設を巡るスタンプラリー
- ・ほどがや野菜の収穫体験、試食会・販売会

目指す姿

子どもから高齢者まで、
多世代が交流するまち
(50代区民)

国籍や障がいの有無に関わらず、
多様な人が認め合い、支え合えるまち
(環境系団体メンバー)



つながり

保土ヶ谷区に暮らし・学び・働き・訪れる人々が
参加し、つながる機会とします。



地域との繋がりや絆が深いまち
(区民、各団体から意見多数)



主なアイデア ～令和5年度区民ヒアリングより～

- ・「笑顔」と「挨拶」でつながりづくり
- ・住民同士がお互いに助け合える環境づくり
- ・オンラインによる世代間交流促進
- ・体操やウォーキングなど知り合いが増えるイベント
- ・市の中心という立地を生かした他区との交流イベント
- ・外国人や障がいのある人など、だれもが参加しやすい活動

区役所として取り組むこと（令和6年度～）

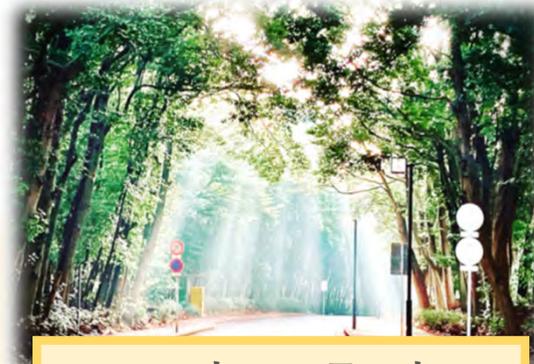
区役所も100周年に向け様々な企画を展開していきます
一緒に盛り上げていきましょう！



地区対抗綱引き大会



機運醸成イベント



フォトコンテスト



こども未来プロジェクト



地産地消料理コンテスト



ほ도가やダンス



ラジオ体操

今後も様々な企画を検討します！

こんな意見もありました

100周年にイベントやって
終わりなんでしょ？税金がもったいない

イベントにお金を使うのではなく
福祉やまちづくりに使ってほしい

仕事、家庭にいっぱい、
地域の活動に参加するのは難しい



100周年をきっかけに

区民の意見を区政に反映し
さらに住みやすい区にしていきます！

イベントだけではない100周年

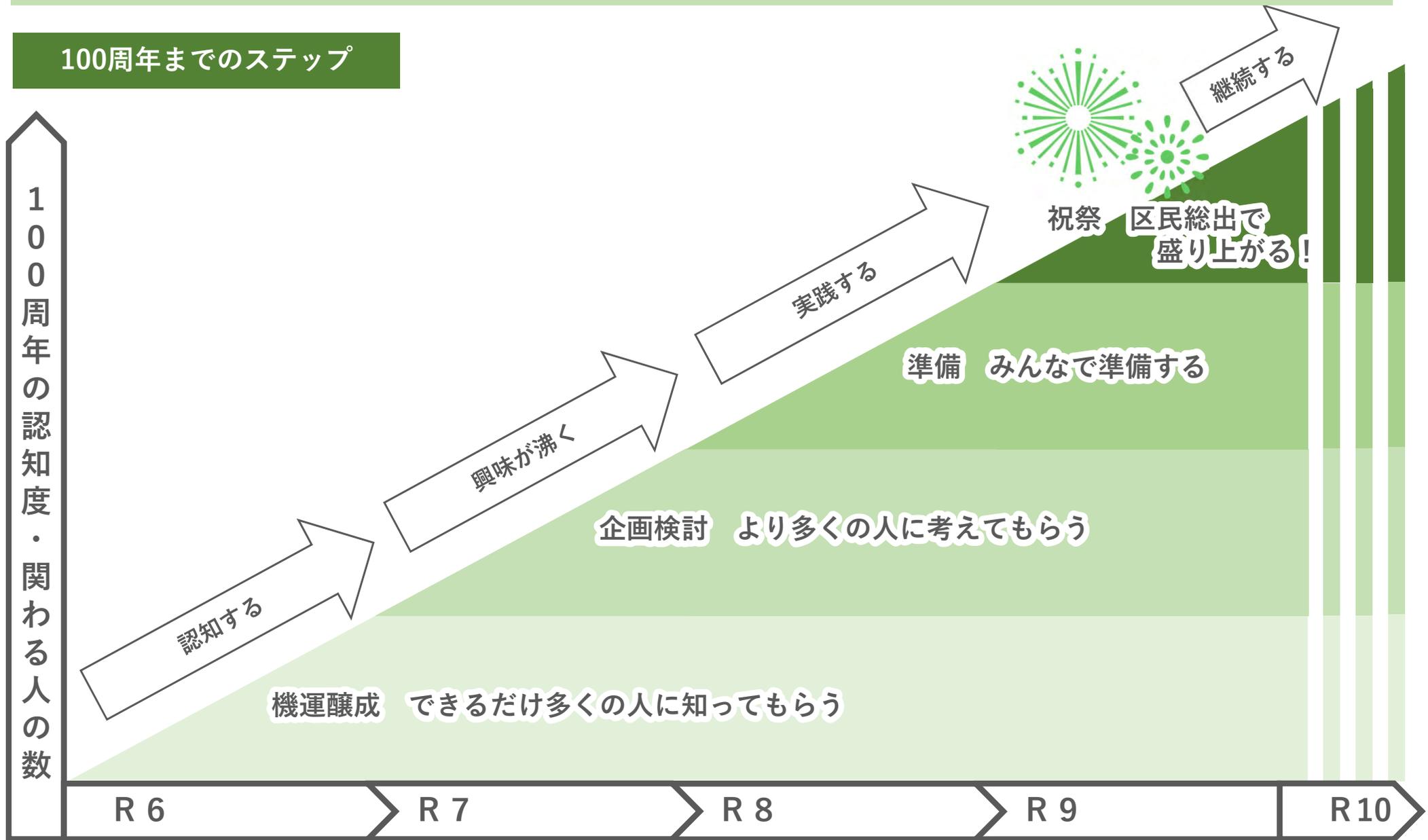
ご近所の方とつながり、支え合える
関係性をつくることも目指しています！

100周年のそのあとも

100周年をきっかけに始まった地域のための活動が
その後も続くことで、働く人や子育て中の人にとっても
暮らしやすい地域を目指します



100周年までのステップ





保土ヶ谷区

保土ヶ谷区制 100 周年に向けた
区民ヒアリング
意見集

令和6年4月
保土ヶ谷区役所

目次

1	区民ヒアリング 意見集について	1
---	-----------------	---

2	ヒアリング内容	2
---	---------	---

3	主な意見	3
---	------	---

問1 保土ヶ谷区のこれからの100年を見据えて、お聞きします

- (1)問1-1 保土ヶ谷区をどのようなまちにしたいか、ご意見をお聞かせください・・・3
- (2)問1-2 そのためにはどのような取組が必要か、ご意見をお聞かせください・・・5
- (3)問1-3 その取組について、ご自身でできることやアイデアがあれば、教えてください・・・7

問2 区制100周年に向けた考え方についてお聞かせください

- (1)問2-1 「目的」「意義」について、ご意見をお聞かせください・・・9
- (2)問2-2 4つの「テーマ」「コンセプト」について、ご意見をお聞かせください・・・10
- (3)問2-3 その他ご意見があればお聞かせください・・・11

1 区民ヒアリング 意見集について

区役所では、令和9年に迎える区制100周年を保土ヶ谷区民のみなさんと一緒に盛り上げるとともに「ほどがや」を未来に繋いでいきたいと考え、区民ヒアリングを実施しました。

この「意見集」では、区民ヒアリングの中でいただいたご意見の一部を紹介させていただきます。実行委員会や各部会における活動等に御活用いただけますと幸いです。

なお、今回いただいたご意見については、保土ヶ谷区役所においても、区制100周年に向けた取組や今後の区政運営の参考として活用させていただきます。

【参考：区民ヒアリングの実施概要】

1 実施期間

令和5年10月～12月

2 実施方法

(1) 電子申請システムによる回答

(区民まつりや区の会議等に参加された方、広報やチラシをご覧になった方 など)

(2) 関係団体とのヒアリングによる意見収集

○ご協力いただいた団体(50音順)

- ◆ 上菅田地区まちづくり協議会
- ◆ (仮称)旧東海道保土ヶ谷宿を未来へつなげるまちづくり協議会
- ◆ 区民会議、公園愛護会、校長会(小学校・中学校)
- ◆ 災害対策連絡協議会
- ◆ 災害ボランティアネットワーク会議
- ◆ 障害者地域自立支援協議会
- ◆ 食生活等改善推進委員会
- ◆ スポーツ推進委員連絡協議会
- ◆ 青少年指導員協議会
- ◆ 西部工業会
- ◆ 地域ケアプラザ 所長会
- ◆ 地域子育て支援拠点
- ◆ 東海道風景街道
- ◆ 納税貯蓄組合
- ◆ 人・まち・文化振興会
- ◆ 保健活動推進委員会
- ◆ 保土ヶ谷区内郵便局(包括協定に基づく連携事業)
- ◆ 民生委員児童委員協議会
- ◆ 連合町内会長連絡会
- ◆ 老人クラブ連合会

2 ヒアリング内容

保土ケ谷区制 100 周年に向けて

保土ケ谷区が横浜市最初の 5 区のひとつとして誕生して 100 年。

100 年という節目に、これまでの保土ケ谷区がどんなまちだったのか、これからはこんなまちにしたい、みなさんのそんな想いを形にするためにこの周年行事を行います。

みんなで知恵を出し合い、共に動き、アイデアを実現していく。

保土ケ谷区は 100 周年もその後も、そんなふうになられていくまちでありたいと思います。

区役所では、区制 100 周年に向けて、みなさんと一緒にこの「ほどがや」を未来に繋いでいくための考え方をまとめました。

この考え方に、さらに、みなさんの想いを反映させることで、「形」に変えていきたいと思っています。

想いを形にするのは、保土ケ谷区で暮らす人、働く人、学ぶ人、保土ケ谷区に関心を持つみなさんです。ぜひみなさんのご意見をお寄せください！

目的

いつまでも住み続けたいまち ほどがや を未来へ
～みんなで作ろう次の100年・想いをカタチに～

意義

- ・ほどがや愛の醸成（もっとほどがやを好きになる！）
- ・次の100年へまちの良い所の再発見と継承（こんな良いところあったのか！）
- ・地域活動に参加する人が増えるきっかけに（地域の集まりに参加してみよう！）
- ・多様な主体とのつながりの創出（いろんな人とつながろう！）

テーマ

未来

子ども

魅力

つながり

コンセプト

これまでの保土ケ谷区の歴史や文化を次の100年という未来につなげます。

これからを担う子どもたちの心に残る、活気あふれる保土ケ谷区にします。

区の魅力や特色を再発見すると共に、多様性を活かした新たな魅力を創出します。

保土ケ谷に暮らし・学び・働き・訪れる人々が祝い、参加し、つながる機会とします。

●ヒアリング項目

問1 保土ケ谷区のこれからの 100 年を見据えて、お聞きします

問1-1 保土ケ谷区をどのようなまちにしたいか、ご意見をお聞かせください

問1-2 そのためにはどのような取組が必要か、ご意見をお聞かせください

問1-3 その取組について、ご自身でできることやアイデアがあれば、教えてください

問2 区制 100 周年に向けた考え方についてお聞かせください

問2-1 「目的」「意義」について、ご意見をお聞かせください

問2-2 4つの「テーマ」「コンセプト」について、ご意見をお聞かせください

問2-3 その他ご意見があればお聞かせください

3 主な意見

※同様の内容のご意見は集約して掲載しています。

■問1 保土ヶ谷区のこれからの100年を見据えて、お聞きします。

(1)問1-1 保土ヶ谷区をどのようなまちにしたいか、ご意見をお聞かせください。

キーワード	ご意見
子ども 子育て 教育	子育てしやすいまち
	子どもがのびのびとし、笑い声が響くまち
	子どもたちが安心して暮らせるまち
	子どもたちが地域の魅力を誇りに思えるまち
	地域と学校が関わり合い、子どもの成長を見守ることができるまち
	子育て世代や支援者の負担が少なくなって欲しい
コミュニティ 地域活動 つながり	挨拶や気軽な声かけができ、思いやりのあるまち
	いろいろな人・地域とつながることができるまち
	地域コミュニティのつながりを深め、孤立しない、助け合えるまち
	昔から住んでいる方と転入してきた若い家族とが交流できる、活気のあるまち
	各家庭(特に子育て家庭)が地域活動に興味を持ち、参加したくなるようなまち
	保土ヶ谷で暮らす人、働く人、学ぶ人が互いに認め合い共生するまち
	皆が少しずつボランティアに参加し、一人の負担が重くならないよう活動ができるまち
伝統を受け継ぐだけでなく、若者の価値観を尊重し、参画できるまち	
防災 安心安全	子どもから高齢者まで、安心して暮らせるまち
	犯罪のない、治安が良いまち
	困りごとがあっても解決できるまち
	災害に強いまち
	災害時に地域が協力できるまち
交通 インフラ	坂が多くても移動しやすい、交通の利便性の高いまち
	子どもや高齢者にやさしい安全な道、歩きやすい道
	交通マナーを守れるまち(車、自転車、歩行者)
	多様な移動手段が整っているまち(鉄道、バス、無人タクシー、空の活用)
	インフラや環境の整ったまち(駅、公共機関へのアクセス)
歴史 伝統	東海道宿場町としての歴史・魅力を活かしたまちづくり
	歴史を大切にし、これからの発展につなげるまち
	古くからある伝統文化(祭りなど)を感じつつも、新たな時代に融合するまち
	保土ヶ谷宿や帷子川などの特徴・特色を生かしたまち
環境 自然	自然豊かで、花いっぱいのもち
	ゴミ、ポイ捨てのない、綺麗でみんなが気持ちよく過ごせるまち
	環境に配慮した取組を行っているまち
	首都圏近くにありながら自然が豊かで、幅広い世代が憩えるまち

キーワード	ご意見
産業	<p>活気あふれる駅周辺、商店街</p> <p>保土ケ谷野菜(ほどじゃが など)、農産物や名産品を誇れるまち</p> <p>区内での買い物の充実</p> <p>横浜駅から近い立地を活かした雇用の場づくり</p>
健康 福祉	<p>健康寿命が長く、シニアがいきいきと活躍できるまち</p> <p>福祉が充実し、安心して暮らせるまち</p> <p>障害の有無にかかわらず、誰もが支え合い、理解し合えるまち</p> <p>これからの高齢化社会に対応した取り組みができるまち</p>
文化芸術スポ ーツ	<p>芸術があふれる、文化的なまち</p> <p>スポーツと芸術のまち</p> <p>クリエイター、芸術家が住みたくくなるような魅力の創出</p>
住みたい 暮らしやすい	<p>いつまでも住み続けたいまち</p> <p>子どもが将来も住みたいと思えるまち</p> <p>子どもから高齢者まで誰もが「ここに住んで良かった」と思えるまち</p> <p>みんながイキイキと穏やかに、幸せに暮らせるまち</p>
にぎわい イベント	<p>地域が活性化していくようなイベントの充実(歴史、多世代、未来創造)</p> <p>箱根駅伝「花の2区」「(優勝を待つ)松の9区」の浸透</p> <p>交通アクセスが悪い地域の活性化</p> <p>観光客誘致によるまちのにぎわい創出</p>
未来	<p>未来に希望がもてるまち</p> <p>新たな100年に向けて、これまでの歴史・魅力を未来へ引き継いでいけるまち</p>
笑顔・活気	<p>笑顔と活気にあふれるまち</p> <p>世代を超え、人生を楽しめるまち</p> <p>若者の活気に満ちたまち、子どもが大人を超えていくまち</p> <p>区外からも訪れたいくなる、みんなが心地よく過ごすことができるまち</p>
その他	<p>地域に愛着を持ち、誇ることができるまち</p> <p>他と比べて一番の魅力、大きな特徴のあるまち</p> <p>生活に密着した部分の充実</p> <p>自然の豊かさは残しつつ、最新技術を駆使して生活できるまち</p> <p>子どもから高齢者まで、全ての年代の人が安心して心穏やかに生活できるまち</p>

(2)問1-2 そのためにはどのような取組が必要か、ご意見をお聞かせください

キーワード	ご意見
子ども 子育て 教育	子育てする人がつながることができる仕組み、場所 様々な事情を抱える人が安心して子育てできる環境づくり(保育・預かりの充実、保護者の負担軽減など) 親子の居場所や支援施設、相談体制の充実 子どもが遊べる場所、安心できる場所、第3の居場所。地域と子どものつながり 小・中学生、高校生が地域を知り、愛着を持てるような教育環境・イベント 子育て世帯への経済的支援
コミュニティ 地域活動 つながり	地域住民、区民同士、保土ヶ谷に関係する人のつながりをつくるための取組(イベント、交流の場づくりなど) 近隣住民のつながり、自治会・町内会の活性化、加入促進の取組(イベント・お祭りの開催、互いに協力できる関係づくり、負担軽減の取組など) 地区同士の交流、各地域の活動や自慢できることの共有による地域全体でのコミュニティ活動の活性化 多世代間での交流や多様な人が参加できる地域活動、居場所づくり(多世代の学び場作り、働き盛りのコミュニティづくりなど) 挨拶や声かけ、思いやりの心。見守り合える関係づくり
防災 安心安全	防犯パトロール・見回り 路地の死角の解消、道路や公園の樹木等を管理して見通しを良くし、安心して歩けるようにする。 地域、行政、企業などの多様な主体が連携した防災対策、防災訓練等の実施 交通安全の啓発活動 がけ崩れ対策
交通 インフラ	移動手段の確保(バス路線整備、コミュニティバス、小型モビリティ、ライドシェアなど) 安心して通行できる道の整備(歩道の確保、危険箇所対策など) 公園やコミュニティ広場を整備し、自由に使えるようにする。 駅周辺の開発、駅から各所へのアクセスの充実 坂道対策(電動自転車購入補助、ベンチの整備など)
歴史 伝統	宿場町らしい景観づくり、街並み整備 歴史、保土ヶ谷宿を活かしたイベント(ポイントラリー、ウォーキングなど) 地域の人が歴史に興味関心を持てるイベント、企画(子ども、若い世代への伝承) 祭りや神輿から伝統を継承、古くから伝わるたくさんの民話を活かした取組 旅行会社、鉄道会社などと連携したツアー企画
環境 自然	まちなかに花を増やす取組(まちかど花壇、子どもと一緒に花壇づくり、花苗や種の配布など) 「ほどがや花憲章」に沿った取組の実施 公園の定期清掃や地域等で協力した清掃活動、ゴミのポイ捨てをしないための啓発活動 自然環境の保護、植樹、公園などの公共の緑を増やす
産業	商店街の活性化(区との連携、好事例の取り込み、空き店舗の再活用など) 農業振興、地産地消の推進(自治会イベントでの野菜販売、地元野菜の収穫体験、農業体験など) 観光振興(公式 HP の立ち上げ、観光案内人の発掘、国内外からの観光客誘致) 企業誘致、企業とのタイアップ(環境配慮した企業や最先端技術を持つ企業など)

キーワード	ご意見
健康 福祉	<p>ウォーキングスポットを作るなど、運動習慣をつけるような取組や坂道に負けない足腰作り</p> <p>年齢や障害の有無などに関係なく参加できる場、機会の創出、支援体制</p> <p>高齢者、障害者、外国人住民に対する支援・サポート(高齢者への買い物支援、バリアフリー、相談体制、啓発活動など)</p> <p>育児相談や医療機関相談など、日常利用できるシステムの充実と周知</p> <p>福祉職従事者の待遇改善、人員増</p>
文化芸術 スポーツ	<p>有名スポーツ選手の積極的な招待</p> <p>アート関連のイベントや芸術コンクールの開催</p> <p>運動やアスレチックが無料で楽しめる施設</p>
にぎわい イベント	<p>誰でも参加し楽しめるイベント(地区を超えた盆踊りパレード、路地裏カフェ、区民まつりの工夫など)</p> <p>区内の周遊企画(鉄道駅とのコラボ、店舗を回るスタンプラリー、小さな子どもや高齢者も参加できる短い距離のウォーキングラリーなど)</p> <p>他区との交流が盛んになるような施策</p> <p>記念キャラクターの着ぐるみ作成やグッズの配布</p> <p>100人での「わがまち保土ヶ谷」の大合唱、未来の保土ヶ谷のまちのジオラマを仮想空間で作成</p>
その他	<p>様々な立場の人がテーマごとにワークショップを行い、講師の話を聞いたり、将来こうなってほしいと話し合ったりすることでデザインを構想できると良い</p> <p>若者が意見を発信できる場や、それを区政に反映できるシステムづくりが必要</p> <p>高齢者の生活が不便と感じるので、ネットやスマホの代わりにするツールがあると良い</p> <p>縦割りではなく横の連携により、一人ひとりの異なる問題を早期解決できる区役所になるような取組</p>

(3)問1-3 その取組について、ご自身でできることやアイデアがあれば、教えてください

キーワード	ご意見
子ども 子育て 教育	<p>子どもたちが区への愛着を抱けるようなことをしたい</p> <p>親子の居場所を増やす、今ある居場所の周知</p> <p>各学校で「わがまち保土ヶ谷」を合唱し、1フレーズずつつなげた映像の作成</p> <p>子どもたちに、保土ヶ谷の歴史や名物などをシャッターに描いてもらうなど、子どもたちを巻き込んだ様々なイベントを行う</p> <p>各校自慢の史跡についてポスターを作成し、公共施設や店舗などに掲示する</p> <p>学校の調理室で朝食づくり</p> <p>子どもを育てたい意欲はあるのでその背中を押してほしい</p>
コミュニティ 地域活動 つながり	<p>自治会町内会や地域の集まり、ボランティア活動への参加。参加の呼びかけ</p> <p>進んで挨拶、声かけをする</p> <p>地域の人が気軽に集い、つながることができる場所づくり</p> <p>区民の枠を超えた交流活動や、自主的に参加できるネットワークづくり</p> <p>地域主催のカフェやこども食堂、多世代がコミュニケーションを取ることができる事業</p> <p>地域活動やボランティア活動の宣伝し、担い手・協力者を発掘する</p>
防災 安心安全	<p>年齢性別問わず集まって行う防災訓練</p> <p>夜間パトロール</p> <p>自身が交通ルールを守る。子どもたちへの交通ルール指導</p> <p>危険なことは見て見ぬふりでなく伝えるようにする</p>
交通 インフラ	<p>交通の利便性向上(路線バスの拡充、相乗りタクシーのステーション化、無料送迎バスの拡充など)</p> <p>新たな場所の宅地化ではなく、空家等の利活用(団地、空家のリノベーション)</p> <p>公園でくつろげるよう民間レストランを開設し、収益の一部を管理費に充てる</p> <p>どうすれば皆が公園を楽しく利用できるかを考える場の提供</p>
歴史 伝統	<p>保土ヶ谷の遺産となるおすすめスポットの募集</p> <p>宿場町の歴史遺産を活かした観光スポットの整備</p> <p>小学校で『お祭り』についての授業を行い、子どもたちにお祭りや神輿のルーツを伝える</p>
環境 自然	<p>地域の美化活動(日々の清掃活動とその周知、親子合同の清掃イベント、川の清掃活動など)</p> <p>公園整備、花壇の手入れ、いつでも誰でも花を植えられる花壇の設置</p> <p>イオン天王町店の周りで子どもたちと植樹を行い、良い試みだった。また、機会があればやってみたい</p> <p>市民農園や協働農園の増設</p>
産業	<p>ご当地グルメの開発、ほどじゃがを使った料理コンテスト</p> <p>職業体験イベント、飲食ブース飲食展覧会(保土ヶ谷区の飲食店の紹介)</p> <p>住民の意見を取り入れたテナント募集、駅前開発</p>
健康 福祉	<p>高齢者の見守り訪問。見守りを実施している団体等の活動をPRし、担い手を増やす</p> <p>高齢者の居場所づくり。高齢者が有給で働ける制度づくり</p> <p>障害者がいきいきと暮らせる環境づくり(地域の活動などに参加できるような取組)</p> <p>ほどがや体操のような健康づくりの取組。ミニ健康フェスなどの催しの開催</p>

キーワード	ご意見
文化芸術 スポーツ	野球やサッカーなどのトップチームの選手と触れ合う機会づくり 色々な異種スポーツイベントをもっと活発にする 様々な人たちが運営側としても参加できるような音楽イベント 若手芸術家の支援。芸術祭の開催や、作品を展示できるスペースをつくる
にぎわい イベント	お祭りや町内会のイベントなどで実施側の負担を減らし、参加者みんなで無理なくイベントを作る機会を設ける 広報を有効活用してイベントの企画や協力を募る 相鉄高架下での音楽やフリーマーケットなどの各種イベントを開催 移動図書館とキッチンカーをセットで地域を回る
情報発信	SNS を活用した情報発信と情報収集(保土ヶ谷の魅力、都心へのアクセスの良さなど) 周知方法を多様化(アナログ、デジタル)し、多世代がアクセスしやすくする
その他	クラウドファンディングの活用 区内イベントへの積極的な参加や施設の利用頻度を増やす

■問2 区制 100 周年に向けた考え方についてお聞かせください

(1)問2-1 「目的」「意義」について、ご意見をお聞かせください

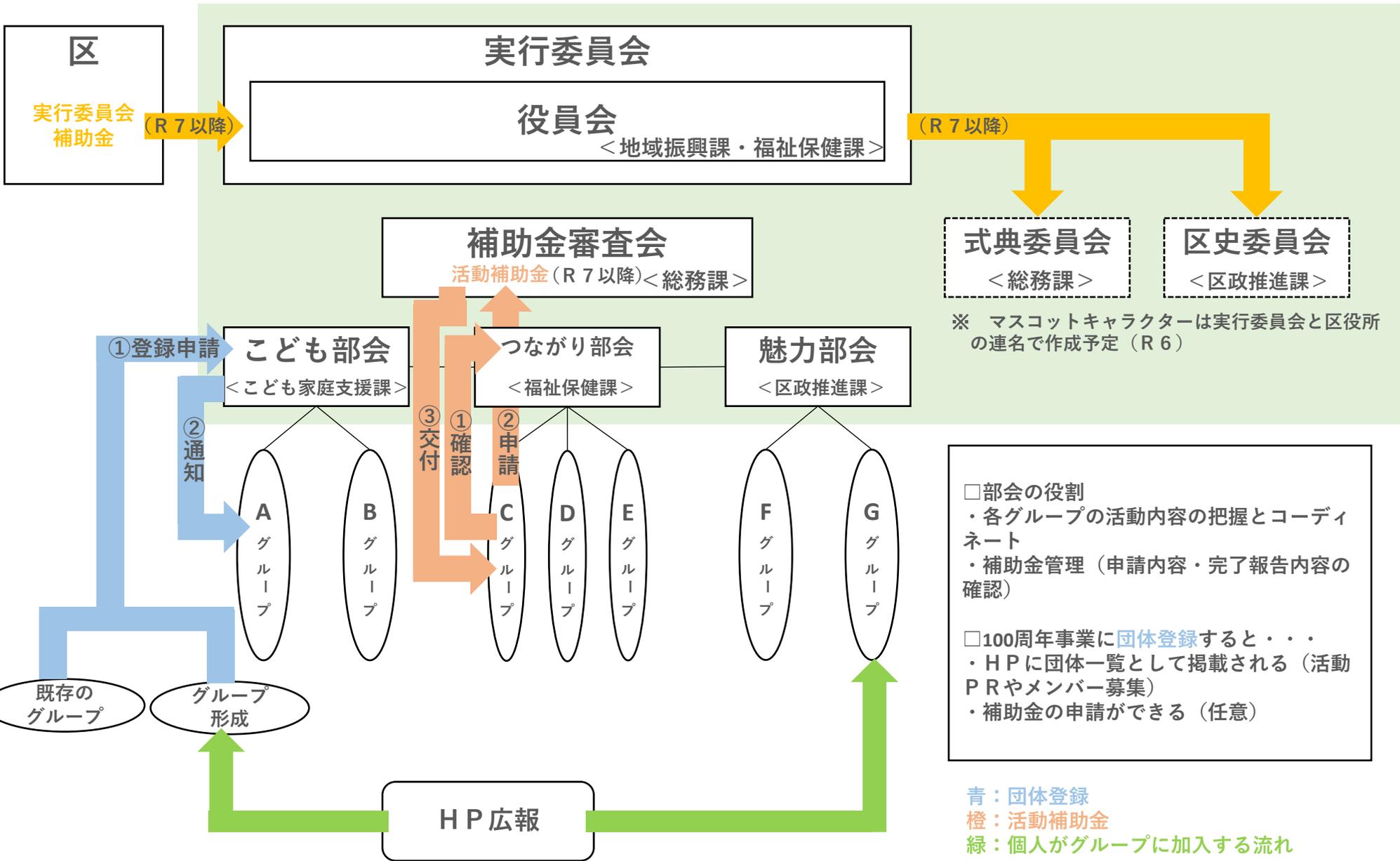
項目	ご意見
目的	「住みやすい、住み続けたい」と思うことが1番大切だと思うのでとても良いと思う
	住み続けたいことは勿論であるが、外部からの移住者を増やしたい
	区制 100 周年の目的は過去の歴史を尊重しつつ、未来の保土ケ谷をより良い場所に育てることが大切
	「区制 100 周年」ではなく、「今後の 100 年」に向けたプロジェクトとすべき
	住み続けたいまちには、つながりや絆が何より大切だと考える
	みんなが住み続けたいまちを目標に掲げることは大変よい
	区民の皆さんが意識し、保土ケ谷区を今後も大切にするような気持ちを持ってもらうことが目的であり、意義だと感じる
	区制 100 周年を節目として、保土ケ谷区在住の方や関わりのある方々により一層愛着を持ってもらい、地域とのつながりや地域を愛する機会とする
	魅力ある保土ケ谷を町から市、県に広めていくという意義を全区民に周知すべき
	「次の 100 年をともにつくる」という点が「主体は区民」を意味していると感じ、良い
	目的を達成するためにはとても時間と労力がかかる。ちょっとずつでも前へ進めて行くべきだと思う 抽象的すぎる。大きく広いので分かりにくいと感じた
	意義
「ほどがや愛」は良いキーワードである	
「次の 100 年へまちの良いところの再発見と継承」について、100 周年で歴史を感じ、若い世代に引き継いでいくことができるとよい	
これからの 100 年を考えると同時に、今までの 100 年をどんな風に作り上げて今の保土ケ谷区があるのかを知ることができると良いと思う(子どもたちにも分かりやすく)	
「高齢者になってもいつまでも住めるまち」を意義に追加してほしい	
ほどがやの「実は！」をもっと知ってもらいたい	
「新しい試みを見つけよう」という観点が薄い気がする。何となく区の独自性が薄い	
地域活動に参加する人が増えるきっかけがたくさんあるとよい	

(2)問2-2 4つの「テーマ」「コンセプト」について、ご意見をお聞かせください

テーマ	ご意見
全体を通して	4つのテーマが様々な形でつながり、1つになるようなイメージがあると良い 「高齢者」「安心」「花」「夢のあるまち」「自立しやすいまち」などをテーマに追加してほしい テーマは4つ以上には増やさない方が良いと思う。2つくらいがブレなくて良い 子どもや若い世代に保土ヶ谷の歴史や良さをしっかりと伝え、魅力を感じてもらいたい 区民一人一人の意識が大切 具体例がなく分かりにくい。達成するための具体例がほしい
未来	未来についての理想を多世代、多様な人が集まって意見を言い合う場を設けてはどうか 次の100年だけでなく現在、5年後の未来、10年後の未来もあっても良い。100年後のイメージ図などがあると良い 未来を見据えた、持続可能な地域社会の構築、次世代に引き継ぐための教育環境づくり、地球にやさしい環境づくり これまでの歴史から区の魅力を探し、未来につなげていくことが大切 歴史をつなげるだけでなく、新たな歴史と文化を作り、区としての魅力を高めることが必要
子ども	子どもがまちに愛着をもち、「住み続けたい」と思えると良い 子どもが安心して成長できるよう、学び、遊びの場づくり(自治体、企業、大学等の協働) 「子どもが担う」のではなく「子どもと共に創る」というコンセプトが良いと思う 「子育てを楽しめる」「現役世代や高齢者も居心地の良いまち＝子どもにも良い影響」といった視点もあると良い 子どもの思う将来像を語ってもらい、どうすれば実現できるかを真剣に議論する
魅力	まちの歴史を活かしながら、新しいまちを創っていかれたら良いと思う まちの魅力はそこに住む人、行き交う人の思いやり、優しさから生まれると思う 地元企業の魅力を紹介し、若い人に興味を持ってもらう(地元就職のきっかけ) 保土ヶ谷らしい特徴、歴史や文化、自然の魅力を活かしたまちづくり 他地域から訪れたいくなるようなまちづくり
つながり	いろいろな立場の人、いろいろな年齢層の人、いろいろな人たちのつながりが大切 近所やコミュニティ、地域交流の充実。住んでよかったと思えるつながりができれば、地域の集まりにも積極的に参加すると思う 保土ヶ谷に限らない広い地域からの取り込みが必要ではないか 「つながり」のコンセプトに「担い手が増えるきっかけ」があると良いと思う IT技術の発達により、何が大切な「つながり」かが分かりづらくなっていると思う。アナログなつながりも見直したい
その他	たくさんの人に興味関心を持ってもらい、参加してもらいたい 一部の人の意見や活動だけにならないよう、子どもや若者、新しい区民や関係者、これまでなかなか参加できなかった人々を暖かく受け入れ、大切にしてほしい

(3)問2-3 その他ご意見があればお聞かせください

キーワード	ご意見
子ども 子育て 教育	訪問型の子育て支援のシステムができる良い(外に出られない人を取り残さないため) 子育て支援に関して、隣の区との連携ができるが良い 子どもの貧困は実際にあるのだと思うが、表面上は見えにくく、活動の中でもなかなか見えてこない 幼稚園、小学校時代の育成・支援が大切。小学校の教育や給食、施設に関して見直してもらいたい
コミュニティ 地域活動 つながり	人口は多いが、集まって何かをできる場所がない。交流をするためにも気軽にかつ自由に使える魅力的な場所が必要 自治会町内会、地域活動やボランティアも担い手不足。担い手をつくるための策を施してほしい 若い世代の交流はあまりない。若い世代の意見を聞く機会や一緒に活動できる取り組みがあると良い
交通 インフラ	山坂の多い区なので、「道」「交通」の整備が不可欠だと思う 親子の居場所が増えても、移動手段が少ない。移動しやすい交通機関や駐車駐輪場の整備が進むと良い 活気あふれるまちにするには、駅前の開発が欠かすことができないと思う
歴史 伝統	区の歴史資料を常時展示できる場所を作ってみてはどうか 子どもたちに区の歴史や宿場を分りやすく伝える本や紙芝居がない。子どもも楽しく読める記念誌ができる と良い
環境・自然	横浜駅に近いのに自然がたくさんあふれている。活用できれば良い
健康 福祉	「100」という数字に「人生100年時代」を関連付けて、健康増進の取組を実施 孤立化、高齢化、ひきこもり等をなんとか優しく皆でフォローしたい
スポーツ	最近公園などでも気軽にボール遊びができない。スポーツ推進のための環境が整っていないことに課題を感じる
にぎわい イベント	年間を通して様々なイベントに「保土ヶ谷区制100周年記念」の冠を付け、メモリアルイヤーを盛り上げていくと良いと思う 子どもたちの地域の愛着につながる記念イベント 1回で終わりでなく持続可能な内容であることが大切ではないかと思う
情報発信 広報広聴	「100周年ロゴマーク」「100周年記念キャラクター」を作成し、広報に活用 区民からの意見と区の情報の双方を効率よく発信、浸透できる仕組みがほしい 安心して暮らせるまちになるよう、多くの人が意見を出せる仕組みを分かりやすく広めてほしい
100周年に 向けた 考え方	100周年に向けた保土ヶ谷区をどのようなまちにしたいか、モットーがあった方が良いと思う 住民参加が大切。関係者だけで盛り上がるのではなく、全体で盛り上がるように工夫してほしい 一部の人が盛り上がるために、協力を強いられたり、多くの税金や時間が割かれたりすることには賛同できない 100周年を機に何かを前向きにやろうとしている人の支援や、生活の困りごとが解決するような方策がとれると良い
ヒアリング について	丁寧なヒアリングにより区民の機運が高まっていくと思う オープンな議論の必要性。意見だけ募って、それがどのように反映、吸い上げられたのかわからなければ意味がない 最終的に区民がどのような意識になってほしいかを定義した方が良い



保土ヶ谷区制 100 周年事業実行委員会規約

制定 令和 6 年 4 月 日

(名称)

第 1 条 本委員会の名称は「保土ヶ谷区制 100 周年事業実行委員会」（以下「実行委員会」という。）とする。

(目的)

第 2 条 令和 9 年に保土ヶ谷区が区制 100 周年を迎えるに当たり、区民が揃って祝うことができる周年事業（以下「周年事業」という。）を実施するため、実行委員会を設置する。

(構成)

第 3 条 実行委員会は委員及び顧問で構成する。

(委員)

第 4 条 実行委員会の委員は、第 2 条の趣旨に賛同する区内の団体及び関係企業とする。
2 委員の任期は、実行委員会設立の日から周年事業の終了後、最初に開催する委員会の解散時までとする。

(役員)

第 5 条 実行委員会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1 人
- (2) 副会長 3 人
- (3) 会計 1 人
- (4) 会計監査 2 人

2 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長が欠けたとき、又は会長に事故があるときは、会長の職務を代理する。

4 会計は、実行委員会の会計を掌る。

5 会計監査は、実行委員会の会計を監査する。

6 役員は別表 1 による職のものをもって充てる。

(顧問)

第 6 条 顧問は別表 2 による職のものをもって充てる。

2 顧問は、周年事業の実施に関し、それぞれの立場から実行委員会に対して必要な意見を述べることができる。

(会議)

第 7 条 実行委員会の会議は、会長が招集し、議長となる。

2 会議では次の議案を協議する。

- (1) 予算及び決算
- (2) 事業計画
- (3) 規約等の制定改廃

(4) その他会長が必要と認める重要な事項

- 3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決するものとする。
- 4 会議は、会長が認めた場合には会議の開催にかえて書面をもって表決することができる。

(役員会)

第8条 周年事業について必要な議案を審議するため、役員会を置く。

- 2 役員会は第5条に定める役員に加え、別表3による職のものから構成する。
- 3 役員会の会議は、会長が招集し、議長となる。
- 4 会議の議事は、役員の過半数をもって決するものとする。

(補助金審査会)

第9条 周年事業に係る補助金事務を実施するため、補助金審査会を置く。

- 2 補助金審査会は別表4による職のものから構成する。
- 3 補助金審査会では周年事業に関する活動補助金に係る審査決定及び交付事務を行う。
- 4 補助金審査の決定は、委員の過半数をもって決するものとする。

(特別委員会)

第10条 周年事業に係る式典等について、必要があるときは特別委員会を置くことができる。

- 2 特別委員会の委員及び委員長は、実行委員会の委員の中から会長が指名した者その他実行委員会において定めるところにより選任した者とする。
- 3 特別委員会の運営については、特別委員会において定める。

(部会)

第11条 区民が主体で行う周年事業について、活動団体の登録及び当該活動を所掌するため、こども部会、魅力部会及びつながり部会（以下「部会」という。）を置く。

- 2 部会の委員及び部会長は、会長が指名した実行委員会所属団体の中から選任した者とする。また、その他実行委員会において定めるところにより選任した者とする。
- 3 部会の運営については、部会において定める。

(財務)

第12条 実行委員会の経費は、補助金、協賛金その他の収入をもって充てる。

- 2 実行委員会の会計年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとする。

(事務局)

第13条 実行委員会の事務局は、保土ヶ谷区役所地域振興課内に置く。

(委任)

第14条 この規約に定めがない事項については、会長が別途定める。

附 則

この規約は、決議の日から施行する。

(別表1)

役職	職名
会 長	保土ヶ谷区連合町内会長連絡会会長
副 会 長	保土ヶ谷区民会議代表委員
副 会 長	保土ヶ谷区社会福祉協議会会長
副 会 長	保土ヶ谷民生委員児童委員協議会会長
会 計	保土ヶ谷区明るい選挙推進協議会会長
会 計 監 査	保土ヶ谷区商店街連合会会長
会 計 監 査	保土ヶ谷区老人クラブ連合会会長

(別表2)

役職	職名
顧 問	横浜市議員
顧 問	神奈川県議会議員
顧 問	保土ヶ谷警察署長
顧 問	保土ヶ谷区長

(別表3)

役職	職名
役 員	保土ヶ谷区青少年指導員協議会会長
役 員	保土ヶ谷区スポーツ推進委員連絡協議会会長
役 員	保土ヶ谷区保健活動推進員会会長

(別表4)

役職	職名
会 長	実行委員会委員の中から互選する
委 員	こども部会長
委 員	魅力部会長
委 員	つながり部会長
委 員	保土ヶ谷区総務部総務課長
委 員	保土ヶ谷区総務部区政推進課長
委 員	保土ヶ谷区福祉保健センター福祉保健課長
委 員	保土ヶ谷区福祉保健センターこども家庭支援課長

保土ヶ谷区制 100 周年事業 活動団体登録申請書

年 月 日

保土ヶ谷区制 100 周年を契機とした活動をする団体として、実行委員会へ登録を申請します。

◆登録内容

(1) 団体の概要

団体名 *	
代表者名	
連絡責任者	
電話番号	
メールアドレス	
団体の活動目的や内容 ※既存団体のみ	
団体ホームページ URL *	

(2) 区制 100 周年に関する活動予定

予定する活動テーマ* (1つ選択)	<input type="checkbox"/> つながり <input type="checkbox"/> こども <input type="checkbox"/> 魅力
実施したい活動イメージ、アイデア *	
会員募集の希望	<input type="checkbox"/> 希望する (※) <input type="checkbox"/> 希望しない (※) 希望する場合は、公開する連絡先を選択 (電話番号 ・ メールアドレス) *

・「*」の項目及び活動写真を区のホームページで公開しますので、写真データを1枚ご提供ください。 【写真データ規格】形式：JPEG または PNG サイズ：2MB 以下

・必要に応じて活動状況の共有をお願いする場合がありますのでご協力をお願いします。

◆確認欄 (チェックを入れてください)

以下の要件をすべて満たした団体です。

- 1 営利、宗教、政治活動を目的とした活動でないこと。
- 2 特定の個人や団体のみが利益を受ける活動でないこと。
- 3 法令等に違反する活動でなく、暴力団等公序良俗に反する団体メンバーがいないこと。

◆提出先 保土ヶ谷区制 100 周年事業実行委員会事務局 (区役所地域振興課)

Mail : ho-chiiki@city.yokohama.jp

保土ヶ谷区公式マスコットキャラクターの制定について

保土ヶ谷区制 100 周年を契機として、世代を問わず広く区民に親しまれる区公式マスコットキャラクターを作成したいと考えています。区民の皆様には保土ヶ谷区に愛着を持ってもらうとともに、区の魅力のPRに活用していきます。

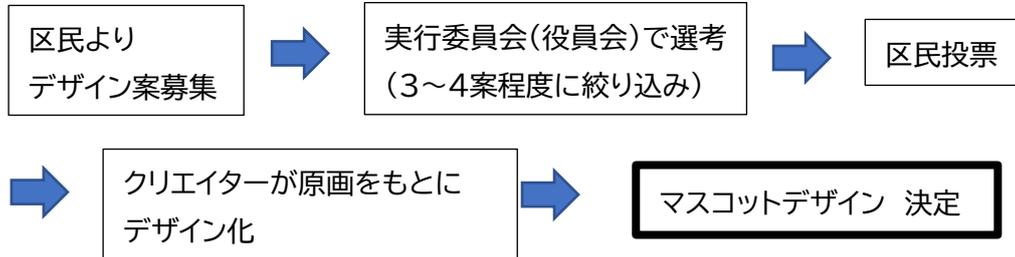
1 進め方

- ・マスコットキャラクターは、本実行員会と区役所との連名で制定します。
- ・キャラクターデザイン案は広く区民から募集し、区民の皆様と一緒に作り上げていきます。
- ・令和6年度中から作成し、保土ヶ谷区制 100 周年に向けた盛り上げにもマスコットキャラクターを活用していきます。

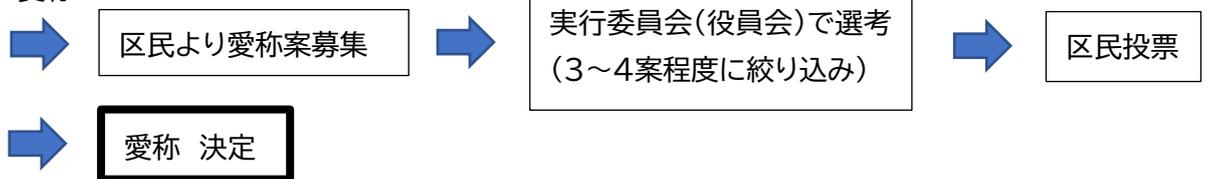
2 デザインの選定手順(案)

- ・「マスコットキャラクターデザイン」と「愛称」の双方を区民公募で決定します。
- ・まず「マスコットキャラクターデザイン」を決定した後、「愛称」を決定します。

① マスコットキャラクターデザイン



② 愛称



3 スケジュール概要

裏面のとおり

<担当>

保土ヶ谷区区政推進課広報相談係

担当:園原・白沢

TEL:045-334-6221

Mail:ho-koho@city.yokohama.jp

保土ケ谷区公式マスコットキャラクター制定スケジュール(案)

